

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい にほん

◆ 第19回 ◆

だい かい

韓国ドラマブーム「信じられる存在」求めた

かんこく しん そんざい もと

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は「韓国ドラマブーム」に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」と<キーワード>の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後で」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

韓国で作られた連続テレビドラマ「冬のソナタ」は日本で放映されて大ブームになり、このブームは題名を略して「冬ソナ現象」と言われています。このドラマの最終回は20.6%という視聴率で、放送週のドラマ部門ではトップとなりました（他のドラマは20%以下）。またあるインターネット調査では「消費者が選んだ2004年上半期の話題商品ベスト10」の中で、アテネオリンピック（1位）やDVDレコーダー（2位）などの他に「冬のソナタ」で主人公を演じたベ・ヨンジュン（ヨン様）が4位で選ばれています。

日本と韓国は、隣同士の国ですが近代以降は決して良い関係だったわけではなく、「近くて遠い国」と言われていました。しかしたった1本のドラマが一般の日本人の韓国に関するイメージを大きく変えました。ドラマだけでなく、韓国に興味を持つ日本人が一気に増え、今は韓国の情報が日本中にあふれています。

今回取り上げたのは、韓国に詳しい人へのインタビューを元にして書かれた「冬ソナ現象」を分析するための記事です。「冬ソナ現象」にはいろいろな意見や考え方があり、このブームはマスコミが作り上げて騒いでいるだけだとの意見もあります。

<キーワード>

映像美、儒教的、 트렌ディードラマ、感情移入、

「おしん」型、「少女漫画」

がた しゅうじょまんが

質問1：皆さんの国で今流行っているドラマはどんなドラマですか。

質問2：皆さんの国では、近隣の国で作られたドラマがきっかけで、その国に興味を持ったりその国に対する考え方やイメージが変わったりしたことがありますか。

質問3：皆さんの国のドラマを一つ日本に紹介するとしたら、どんなドラマがありますか。



三者白論

韓国ドラマ「冬のソナタ」人気が続く。日本でいま、なぜ純愛がこれほどウケたのか。

「冬のソナ」現象



小倉 紀蔵氏

東海大助教授(韓国哲学)

ソウル大学文学部哲学科博士課程単位取得。02年からNHKテレビ「ハングル講座」講師。

①日本の女性や、韓国男性にこれほど熱狂したのは、史上初めてのことだろう。韓国が憧れの対象になったのも、日本の国家総崩壊期、朝鮮通信使を歓迎した江戸時代に次いで、3回目ではないか。
②ドラマがヒットしたのは、純粋さ、誠実さ、一途さなど、今の日本のドラマにはないような人間像が鮮やかに描かれているからだ。しかも、

映像美と、きれいな音楽で新しい世界が創造されている。
③言葉のインパクトも大きい。詩的なセリフに感動して、韓国語でも聞いた人が、きれいな響きに魅了されて、言葉を勉強する人が増えている。吹き替えがきっかけになって外国語を学ぼうとするエネルギーは、敬服に値しよう。

④「冬のソナ」のキーワードは北極星(ポラリス)だ。「不動の存在」である。セリフにもあるし、コンセプトにもなっている。チェンサンが夜空を見上げながら、ゴジンにこう言う。

⑤「ポラリスだけは絶対に動かない。いつでも北の空に輝いている。だから、道に迷ったら、まずポラリスを探そうだ」

⑥チェンサンが自分のことをポラリスに見なすよう、求めた言葉であり、北極星に対する憧れと、至高の信頼も示されている。宗教的とも言える前近代(プリモダク)の世界観が浮かぶ。ポラリスは変わらぬ愛の象徴でもある。

⑦「論議」にも「政治を学すもの」要諦は道徳だ。道徳で政治をすれば、北極星が動かないでも、周りの星が従うのと同じである」とある。

⑧近代(ポストモダク)の自由な時代とは異なり、秩序を重視する思想が、色濃く投影されている。

⑨韓国ドラマは儒教の影響が強く、国家や家族など共同体に基盤を持つ個人が描かれて

いるのが特徴だ。
⑩一方の日本は、トレンディドラマ以降、最初から自由が与えられた個人を中心に描かれる。家族や国家は、あまり意識されない。
⑪日本は過去二十数年(A)がない社会だった。すべてのものが自由に動き、中心がなかった。みんなが自由に浮遊し、権力者や親の権威に従う必要もない。

⑫その結果、国としてのまとまりがなくなると共同体も崩壊してきた、という不安が出てきた。信じられる存在、見つめていけば道に迷わない存在が、必要だと思われ始めたのではないか。

⑬「冬のソナ」にはまた日本女性の憧れ、最近の日本のドラマに感情移入できなかつた現実味が感じられなかつたか。結婚生活で、しゅごめや介護の問題を抱えているが故に、家族の問題が当たり前に出てくる韓国ドラマに、より共感を覚えたのだから。

⑭韓国ドラマは、共同体の中で、貧しさから挫折や悲嘆を味わいながら、誠実に努力して上昇していく「おしん」型と、ドラマチックで美しい「少女漫画」が合体した構造でできている。

⑮ひと昔前の韓国では、「おしん」型に血や出自、金銭をめぐる争い、他人を陥れようとしても出世する話などを絡ませたドラマばかりだった。もがきながら上昇していく人間だから醜く描かれる。

⑯ただ、日本の影響もあると思われるが、「冬のソナ」は、それを希薄化させ、ひたすら美しい映像で「少女漫画」の世界に、かなり傾斜させている。韓国ドラマとしては、かなり異質だが、北極星への郷愁がひそかに湧いていた日本社会の「夜空」には、彗星のよらにきらめいたよらだ。

(聞き手・伊藤政彦)

あらずし 高校時代に初恋の相手チェンサンを交通事故で失ったユジミンの前に、10年後、そっくりの男性ミニヨンが現れる。幼なじみのサンヒヨクと婚約したユジミンの心が揺れ動く。韓国放送公社(KBS)制作のテレビドラマ。NHK衛星第2で03年4月と12月に放送され、反響を呼んだ。この4月からNHK総合で再放送中。

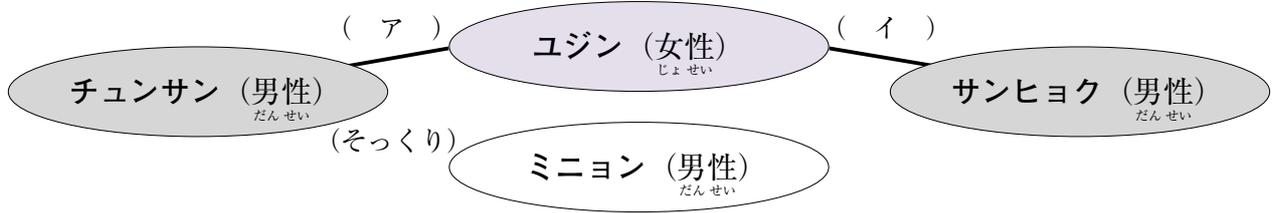
「信じられる存在」求めた

読んだ後

よ あと

質問4：見出しの「『信じられる存在』を求めた」ということばの意味は、①～⑫のどの段落に書かれていますか。また「『信じられる存在』を求めた」のはなぜか、その理由を述べてください。

質問5：「冬のソナタ」のあらすじの部分を読んで、次の関係図の（ア）（イ）に関係を記入してください。



質問6：日本で韓国のドラマが人気になった理由として、記事の中で指摘されているのは①～⑩のうちどれですか。指し摘されているものを全部あげてください。

- a セリフが詩的ですから b 日本とは異なる韓国の生活文化が興味を引いたから
 c 日本のドラマにはないような人間像が描かれているから d ドラマに出てくる韓国人男性がハンサムだから
 e 放送した日本のテレビ局の宣伝が巧みだったから f ドラマチックで美しいから
 g 韓国政府の文化戦略が効を奏したから h 映像が美しいから
 i ドラマに出てくる韓国人女性がきれいだから j 音楽がきれいだから

質問7：記事の中の第11段落にある（A）には、どんなことばが入りますか。記事の中から、適切な表現を選んで書いてください。

質問8：記事を見て「韓国のドラマ」と「日本のドラマ」の違いをわかりやすく説明してください。

【発展練習】

- A. あなたの国のドラマは、日本と韓国のどちらに近いですか。また、あなたはどちらが好きか、述べてください。
 B. 日本の放送局の人があなたの国にドラマの買い付けに来ています。日本で紹介したい自国のドラマの一つを選んで、そのあらすじと紹介したい理由を述べてください。日本の放送局の人は、複数の人からドラマの紹介を聞いた後で最終的に買い付けるドラマの一つ決めてください。決めた理由も話してください。

<解答例>

質問4：書かれているところ：①～⑫。「『信じられる存在』を求めた」理由：日本は過去二十数年、中心がない状態で、日本人の間に「国としてのまとまりがなくなり、共同体が崩壊してきた」という不安が生まれたから。

質問5：（ア）初恋の相手、（イ）幼なじみで今は婚約者

質問6：a、c、f、h、j

質問7：「北極星、ポラリス、不動の存在」のうちのいずれか一つ。

質問8：韓国のドラマは、儒教の影響（秩序を重視する）が強く、国家や家族など共同体に基盤を持つ個人が描かれている。一方、日本のドラマは、最初から自由が与えられた個人を中心に描かれ、家族や国家はあまり意識されない。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当：柴原智代、北村武士（日本語国際センター専任講師）